



2学期が始まりました！



2学期が始まりました。まだまだ寒さは続くようですが、子どもたちの元気な姿を見て安心しました。久しぶりに会った友達との交流を楽しんでいるように思えました。始業式では、始めに生徒会の役員2名から2学期の目標「勉強を頑張ろう」という話がありました。2学期は前期テストもあり、

それに向けて全力で取り組もうと児童生徒全員に呼びかけました。全校集会のたびに児童生徒会の役員が全員の前で話をしてくれます。大勢の前で話すということは、かなり緊張することだと思いますが、いつも堂々と話をしてくれています。大変良い経験になっていると思います。私からは以下のような話をしました。

現在、文部科学省では「グローバル人材の育成」として、将来、世界で活躍する人を育てるという動きを加速させています。具体的には、東京オリンピックの年から適応される新学習指導要領では、小学校で英語を教科化して子どもたちに英語の力をつけるカリキュラムが施行されることとなります。日本では、同学年の友達が一生懸命に英語を勉強している現状を話して、そのかわり、ニュージーランドにいる「君たちは、日本語を頑張ろう！」と話しました。



引き続き、「努力の壺」という話をしました。人には目に見えないですが、身体の中に「努力の壺」というものが必ずあります。この努力の壺の中に、「学習したこと」という水をコップに入れて溜めているのです。どのくらい溜まったかは、分かりません。でも確実に、「学習した水」は増え



ているのです。昨日より今日、今日より明日と中身は必ず増えてきています。その成果が、目にみえないため、途中で「やめた！」と諦めたら、努力の壺の中に溜まった水は、それで終わってしまいます。いつか必ず、溢れ出る時が来ます！その時になって初めて、「出来た！」

と努力の成果が目に見えてわかり、実感することができます。やっても無駄だとは思わず、今は、努力の壺の中に水を溜めている時期だと思って、決して諦めないで学習を続けて下さい。補習校の勉強も大変だけれども、「続けていて良かったと思える日が、将来必ず来るよ。諦めずに2学期も頑張りましょう！」という話をしました。

始業式の後に、全校写真を撮影いたしました。ドローンを使っての撮影にご協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。どのような写真が出来上がるのか楽しみですね。

2学期も引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

《在外教育施設グローバル人材育成強化戦略》平成28年5月19日 文部科学省

基本的な考え方を下記のようにしめています。

海外の日本人学校や現地校、補習授業校で学ぶ子供たちは、我が国と異なる言語・文化・社会環境の中で生活・学習しており、将来のグローバル人材の「金の卵」である。これらの子どもたちが真のグローバル人材となるためには、海外での利点を最大限に活かした教育を受けることに加えて、日本人としてのアイデンティティを培うことや我が国の歴史、伝統文化、国語、道徳等をしっかりと学ぶことも重要であり、グローバル人材育成の最前線にある 在外教育施設の教育の質の向上を図ることは、我が国のグローバル化戦略の中でも極めて重要かつ有効な施策である。 (基本的な考え方 一部抜粋)

詳細は文部科学省の下記 URL へ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/_icsFiles/afieldfile/2016/09/08/1376422_2.pdf